

VII. 松江を代表する食文化と名物

松江の食は、豊かな素材に恵まれるとともに、城下町とそれを支える農漁村という風土の特徴から、伝統的な味を継承しながら特色のある食文化をはぐくんできました。それは、松江に住む市民の豊かな文化的土壌の基盤となるとともに、その高いポテンシャルが多くの観光客を呼び込む大きな要素となっています。食文化は、時代の変化や地域間の交流など、歴史の流れの中で変化をしながら残ってきています。これからも、伝統的な素材や料理法、食文化にこだわりながらも、時代に即応した新たな食文化を育てていくことが大切です。その基盤となる数多くの食の歴史文化の中から、特筆すべきものを挙げておきましょう。

○七千年の健康食シジミ

島根の歴史上、現在に残る最古の名物はシジミです。7000年前に大量のシジミの殻を捨てた佐太講武貝塚は、海にも近いのに、とにかくシジミでいっぱい。その出汁のおいしさに加え、安定して取れていたのでしょう。健康にいいことも知っていたのかも。その後も、貝塚といえばシジミです。弥生時代、中世とシジミ。松江城下町でたくさん出るのもシジミ。そして現在は、日本一のヤマトシジミの産地です。見た目は地味だけど、中身は絶品、これは今の島根県や松江市の姿に似ていますね。本物の魅力です。

○戦国時代より伝わる最上（西条）のほし柿

尼子、毛利の合戦までさかのぼるといわれる西条柿のほし柿。江戸時代には藩主にも献上されました。東出雲町畑集落には、柿の古木に囲まれて、柿を干すための柿小屋が今も活躍しています。伝統的な自然の手法にこだわったほし柿は、歴史ある景観と相まって、まさに400年フード、最上のほし柿です。

○江戸時代から親しまれた蕎麦切―出雲そば―

松江藩主松平家初代直政に仕えた上級武士が食べた蕎麦切＝松江の蕎麦。おもに荒蕪地で作られた蕎麦が麺となって、グルメとなりました。やがて江戸時代後期には庶民にも広がり、割り子や釜揚げなど、この地の独自のメニューも生まれました。挽きぐるみで黒っぽい素朴な蕎麦は、香り抜群でよそにない出

雲そばとして、全国ブランドへとステップアップ。地元の人にも観光客にも愛される、まさに文化庁「100年フード」にふさわしい食文化となりました。

○茶の湯が支えてきた喫茶の文化ーお茶の習慣と和菓子ー

松江は、京都、金沢と並んで茶処、菓子処として有名です。その要因に、江戸時代の松江藩松平家七代藩主治郷公はるさとの存在があります。松平治郷公ふまいは不昧と称し、茶の湯文化を極めた大名茶人です。松江には不昧公が育んだ茶の湯文化が、近代の顕彰活動を経て、今も生活の中に息づいています。まちでは、多くの茶舗や和菓子の老舗のれんが暖簾を守り続けています。不昧公が目指した茶道は不昧流として伝えられ、茶会で使われた「若草」「山川」「菜種の里」の松江三大銘菓をはじめとした和菓子の数々は、現在にも受け継がれています。また、松江の茶の湯文化は、松江の歴史、風土等を反映しながら継承され、日常生活の中で培われてきた特有の文化です。市民のみならず、松江を訪れる観光客もこの茶の湯やお菓子を目当てに訪れ、お土産としても喜ばれています。

○海水・汽水・淡水の恵み

縄文時代以来、日本海に北面し、瀬戸内海（汽水域、淡水域）が中央を縦断する松江の地形と環境は、豊かな水辺に恵まれて、多種多様な水産物を提供してきました。その環境は今も生活の中に根付き、松江に特徴的な料理や食べ物を私たちは食しています。そして、それらは観光の大きな資源として、有形無形に貢献をしています。この恵まれた環境を大切に、誇りを持ちながら未来に継承し、地域の発展にも寄与していくよう努力していきましょう。

松江という恵まれた自然環境の中で伝えられてきた伝統食を残していきつつ、多くの人々に食べていただくための知恵と工夫が必要でしょう。

100年フード宣言

我が国には、豊かな自然風土や歴史に根差した多様な食文化が存在しており、文化庁では、その中でも特に歴史性のあるものを文化財として登録する取組を進めています。

一方で、全国各地には、比較的新しいものであることなどを理由に文化財として登録されていない食文化であっても、世代を超えて受け継がれ、長く地域で愛されてきたものが数多く存在しています。

本事業では、そのような食文化を「100年フード」と名付けるとともに、地域の関係者や地方自治体が100年続く食文化として継承することを宣言する「100年フード宣言」の取組を推進していきます。

ヒストリー作成体制

- ・事務局：松江市文化スポーツ部松江城・史料調査課、文化財課
- ・本文編集執筆：丹羽野裕が下記協議会および事務局内で協議をして執筆した。
- ・松江市文化財保存活用計画協議会構成員（令和４年度）

禰宜田佳男（会長）、木幡均、小林准士、津村宏臣、石山祥子、鶴鶴順、伊藤知恵、長野正夫、河野美知、島根県教育庁文化財課、島根県観光振興課、松江市観光振興部、松江市教育委員会学校教育課

松江市のヒストリー集

特色ある松江の食と名物のヒストリー

令和５年（2023）３月31日

松江市文化スポーツ部松江城・史料調査課
